

令和5年度に実施した本永福祉会の「地域における公益的な取組」

本格的な人口減少を迎えるにあたり地域包括ケアシステムを推進するためにも、地域への支援体制は欠かせない取組みとなっています。

本永福祉会では、社会福祉法人として本来の役割を果たすため、これからも積極的に地域に貢献する取組みを行っていきます。

- ① 社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減の実施
- ② 地域における認知症高齢者支援の取組み
※ 地域の医師、民生委員・住民等と連携した「高屋おれんじ会」への参画
- ③ 東広島市社会福祉協議会等と連携した地域貢献事業
※ 地元小学校等において、車いす体験等の「福祉教育」の実施
- ④ 「災害時における安心・安全に向けた相互協力に関する協定」「広島さっそくネット」「東広島市施設連絡協議会災害時相互支援協定」に基づく、災害時における施設間相互支援及び地域支援のための取組み
※ 図上訓練・シミュレーション訓練を実施
- ⑤ 広島県災害時福祉支援体制への協力（福祉避難所・DWAT）
※ 能登半島地震において、職員2名を「広島 DWAT」メンバーとして派遣
- ⑥ 「東広島市 SDGs パートナー」の標榜
- ⑦ その他

令和6年6月

社会福祉法人本永福祉会
理事長 本永 史郎